



徳清会

質問者

ひがしかわさぶろう
東川三郎 議員

所属議員

くりおじゅんぞう 議員
栗尾順三
もりおかさとこ 議員
森岡聡子
うまこしゅうせい 議員
馬越裕正
にしなふみひで 議員
仁科文秀
おおやまもりひさ 議員
大山盛久

市民病院の経営改善、目標達成への取組を問う

議員 第7次笠岡市総合計画の市民病院の経営改善、目標達成のための取組概要にはとてもいいことを書いてあるが、専門の部署をつくらず、今の体制でできるのか。

市長 現在も現体制の中でそれぞれ取り組んでおり、特に支障はないが、新病院建設の検討については、現在検討されている玉野市民病院では平成29年4月から病院内に2名体制の病院建設の準備室を設置されている。参考にしながら、検討してまいりたい。

議員 人件費が8割にもなる現状では、根本的に考え直しをしなければ何も変わらない。例えば、病院専門のコンサルタントを入れるとか、公設民営化にするとか、病院廃止まで含めて考えるべきでは。

病院管理局長 コンサルタント業者等の導入については前向きに検討してまいりたい。今後は病院の

こうした経営状態を市民の皆様にも分かるようにしていきたい。

公共交通を問う

議員 本市における路線バスやデマンド型乗り合いタクシーの利用状況及び利用率向上に向けた取組をたずねる。

市長 28年度の利用状況は、路線バスが43万7279人で、前年度比で約4000人増。デマンド型乗り合いタクシーが、前年度比400人減の1246人が利用された。また、利用率向上に向けて井

笠バスカンパニーが主体となり地元企業や市民と一体で取り組んでいる。バス停ごとの時刻表やマップの作成など、市民を巻き込んだ多彩な取組を行っている。



新政みらい

質問者

あまの きいちろう
天野喜一郎 議員

所属議員

おおつきたかし 議員
大月隆司
たぐちただよし 議員
田口忠義
おおもとますゆき 議員
大本益之

中心市街地活性化の基本的考え方は？

議員 JR笠岡駅周辺整備基本構想についてたずねる。

市長 構想は、JR笠岡駅周辺を中心とする市街地の活性化を目的とし、既存の都市機能に歴史、自然などの地域資源を生かして、今後進めていく整備の方向性を示したものである。この構想をもとに、

井笠地域の中核都市にふさわしい市中心部の整備に向けて、橋上化も見据えた駅のリニューアルや南北の駅前広場整備の事業化を図り、中心市街地の活性化を目指してまいりたい。プロジェクトの第1段階として、おおむね5年後までに

これまでの取り組みをさらに進化させ、空き地や空き店舗の活用促進を図りながら、駅北県庁通りエリアが若い人たちが集える魅力的な町となるようにしたい。

農業振興の考えは？

議員 干拓を日本の農業の中心にしていくと、そういう方向にまい進していくようなお考えがあるのかたずねる。

市長 一丁目一番地は、企業誘致中・長期的に見た場合は、固定資産税、法人市民税を含めた、税収の確保も含めて、さらに推進していく。ただし、地政学的に考えると、

国が約30年前に1192ヘクタールの干拓を300億円もかけてつくってくれたのは大きなアドバンテージだ。露地物もしっかりと支援しながら、高機能な野菜とか、あるいは付加価値がついた野菜、あるいはハウスの効率的な農業を進めていく上ではしっかりと我々は応援していきたい。また、効率的な畜産業もしっかりと支援していきたい、ブランド化を推進する。

国が約30年前に1192ヘクタールの干拓を300億円もかけてつくってくれたのは大きなアドバンテージだ。露地物もしっかりと支援しながら、高機能な野菜とか、あるいは付加価値がついた野菜、あるいはハウスの効率的な農業を進めていく上ではしっかりと我々は応援していきたい。また、効率的な畜産業もしっかりと支援していきたい、ブランド化を推進する。

